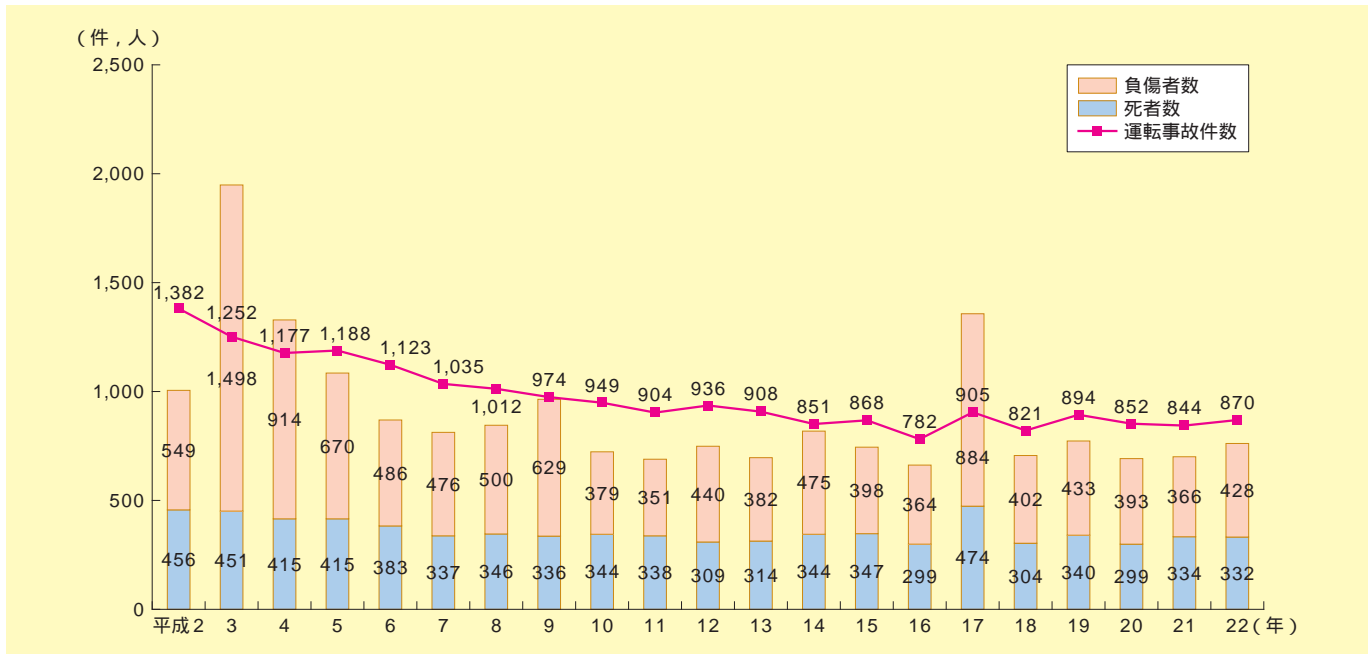


1 近年の運転事故の状況

鉄道交通における運転事故は、長期的には減少傾向にあり、平成2年に1,382件であったものが、12年には936件、22年には870件となった（第1-40図）。22年は前年比3.1%増、列車走行100万キロメートルあたりでは0.65件で前年比3.2%増となった。

事故種類別の発生件数についてみると、踏切障害が311件（35.7%）、人身障害445件（51.1%）、道路障害104件（12.0%）であった（第1-31表）。

第1-40図 運転事故の件数と死傷者数の推移



注 1 国土交通省資料による。
2 死者数は24時間死者。

第1-31表 事故種類別の運転事故の発生状況

(平成22年)

区分	列車事故				その他の事故					合計
	列車衝突	列車脱線	列車火災	小計	踏切障害	道路障害	人身障害	物損	小計	
件数(件)	1 0.1%	7 0.8%	0 0.0%	8 0.9%	311 35.7%	104 12.0%	445 51.1%	2 0.2%	862 99.1%	870 100.0%
死傷者(人)	0 (0)	53 (1)	0 (0)	53 (1)	201 (111)	54 (2)	452 (218)		707 (331)	760 (332)

注 1 国土交通省資料による。
2 ()内は、死亡者で死傷者の内数である。
3 踏切障害とは、踏切道において列車又は車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故のうち列車事故に至らなかったもの。
4 道路障害とは、踏切道以外の道路において、列車又は車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故のうち列車事故に至らなかったもの。
5 人身障害とは、列車又は車両の運転により人の死傷を生じた事故をいう(列車事故、踏切障害及び道路障害を除く)。
6 物損とは、列車又は車両の運転により500万円以上の物損を生じた事故をいう(列車事故、踏切障害、道路障害及び人身障害を除く)。

運転事故

列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故及び鉄道物損事故をいう。なお、軌道の運転事故は、鉄道運転事故と同様に定義する。

害によるものが3件である。

3 平成22年中の踏切事故の状況

踏切事故は、踏切保安設備の整備等により、長期にわたって減少傾向にあり、平成22年中に発生した踏切事故の件数は314件で前年比4.0%減であり、運転事故(870件)の約36.1%を占めた。この割合は、平成2年には57.2%であったものが12年には48.1%、22年には36.1%となり減少傾向にある。死傷者数は249人で前年比15.8%増となった(第1-41図)。

踏切事故の原因は、列車が通過する直前の横断等道路交通側にあるものがほとんどである。また、衝突した相手側としては、自動車が高い割合を示している(第1-42図)。

また、踏切道の種類別にみると、発生件数では第1種が最も多いが、踏切道100か所当たりでは第1種が最も少なくなっている(第1-32表)。

4 ホーム触車死傷事故の発生状況

人身障害事故におけるホーム触車死傷事故は、近年増加傾向にあり、平成22年中に発生した事故の件

数は218件で前年比0.9%増であり、人身障害事故(445件)の49.0%を占めた。内訳は、ホーム上で列車等と接触した事故が155件、ホームから転落し列車等と接触した事故が63件となっている。

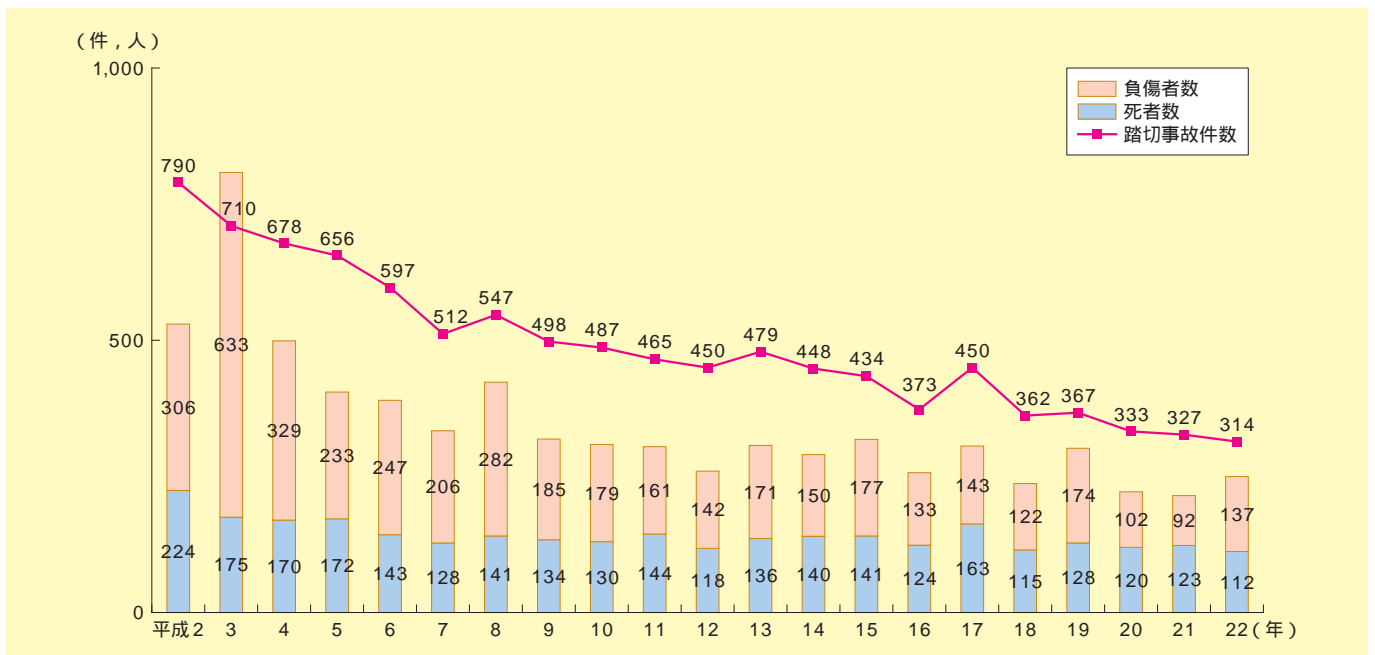
ホーム触車死傷事故は、酔客によるものが約6割を占めている(第1-43図)。

第1-32表 踏切道種別の踏切事故発生件数 (平成22年)

踏切道	踏切道数	件数	構成率 (踏切道)	100か所当 たりの事故 件数
	か所	件	%	件
第1種	29,930	247	87.7	0.83
第2種	-	-	-	-
第3種	907	13	2.7	1.43
第4種	3,305	54	9.7	1.63
計	34,142	314	100.0	0.92

- 注 1 国土交通省資料による。
 2 踏切道種別は、次による。
 第1種 自動遮断機が設置されている踏切道又は踏切保安係が遮断機を操作している踏切道
 第3種 遮断機はないが警報機が設置されている踏切道
 第4種 踏切保安係もおらず、遮断機も警報機も設置されていない踏切道
 第2種については、現在設置されているものはない。
 3 踏切道数は、平成21年度末の数字である。
 4 100か所当たり件数とは、踏切道100か所当たりの踏切事故件数である。

第1-41図 踏切事故の件数と死傷者数の推移

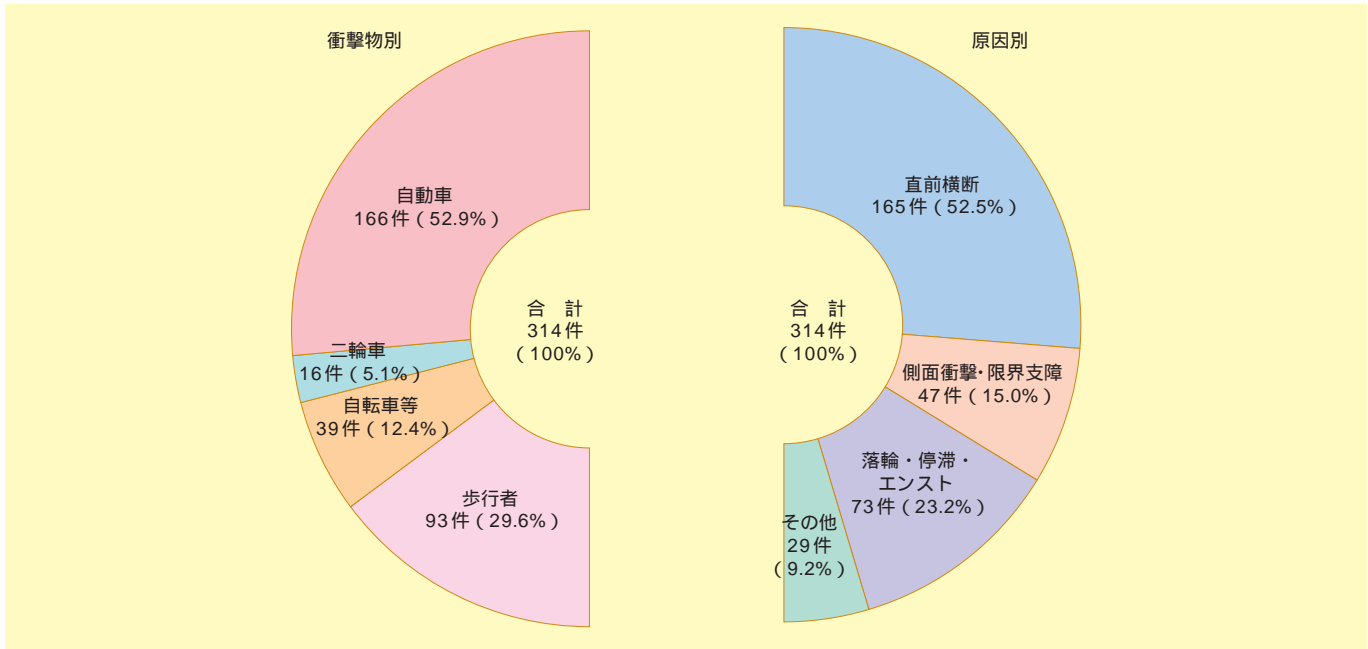


- 注 1 国土交通省資料による。
 2 死者数は24時間死者。

踏切事故

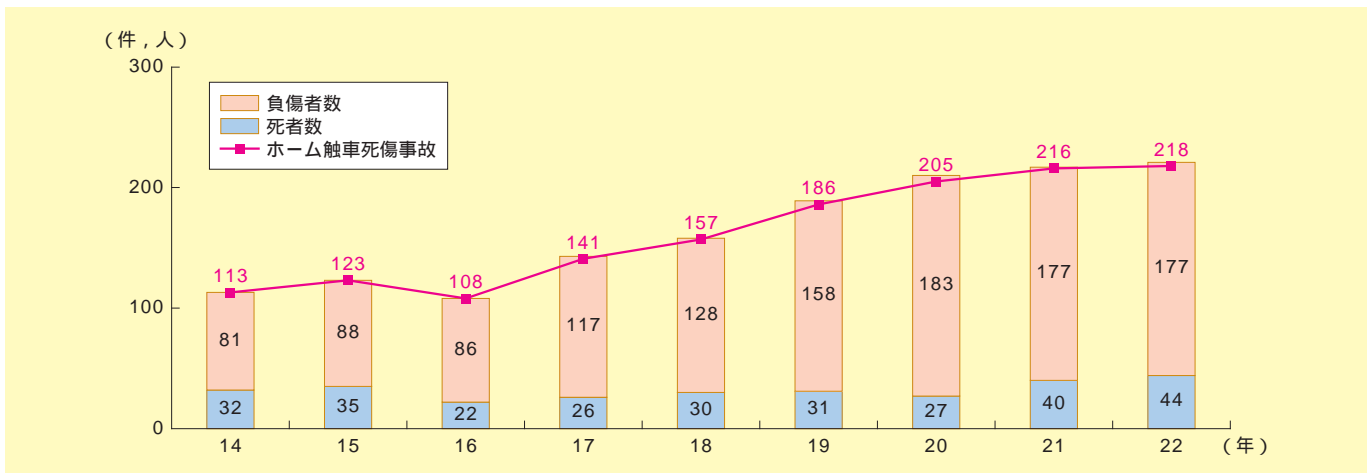
列車事故のうち、踏切道において、列車又は車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故及び踏切障害事故をいう。

第1-42図 原因別・衝撃物別踏切事故発生件数（平成22年）



注 国土交通省資料による。

第1-43図 ホーム触車死傷事故の件数と死傷者数の推移



注 1 国土交通省資料による。
2 死者数は24時間死者。

第1-33表 重大事故一覧

(平成22年)

発生日	事業者名	線名・場所	事故種類	死傷者数	脱線両数	主原因及び概要
1/29	JR北海道	函館線 深川駅～妹背牛駅間	列車脱線事故	45人 (0人)	1	踏切道において、列車が大型トラックと衝突し脱線した。

注 1 国土交通省資料による。
2 重大事故とは、死傷者が10名以上又は脱線両数が10両以上生じた事故をいう。
3 死傷者数の()内は、死亡者数で内数を示す。

5 平成22年中の鉄道交通における重大事故の発生状況

平成22年1月29日にJR北海道の函館線深川駅～

妹背牛駅間において、踏切道で列車が大型トラックと衝突、脱線し、乗客等45人が負傷した(第1-33表)。